発行日: 2019年10月　第27号

PCP

PCP研究会
Newsletter
No. 27

Advance

~精神科薬剤師のさらなる進化への挑戦~

発行:PCP研究会広報委員会

巻頭言

ブロック講演会のテーマ・症例検討について

精神科臨床薬学研究会（PCP）研究会会員の皆様、各地区のブロック講演会に大変お忙しい中にもかかわらずご参加いただきありがとうございます。第1回のブロック講演会から13年程経ちますが、最近は大学病院や総合病院、また調剤薬局の先生方の参加が徐々に増えてきました。これは認定薬剤師制度や病棟配置、精神科医療の流れが入院医療から地域医療へと変化していることの表れかと思います。より多くの薬剤師が精神科医療に興味を持ち、関わる事は良い傾向なのではないでしょうか。

さて、ブロック講演会ではテーマに沿った特別講演、症例検討を必須としここまで行ってまいりました。講演会のメインとなるテーマについては、世話人会においてアンケート結果や精神科医療の動向も踏まえ、話し合い・決定をしています。

もう一つ、ブロック講演会で重要な位置を占める症例検討についてですが、この度「医療用医薬品の販売情報提供活動ガイドライン」の施行に伴い、症例検討の進行等において注意が必要になりました。例えば「共催会社の医薬品について有効性および安全性を強調・保証する表現」や「他社製品の誹謗中傷に繋がるデータの提示」などは当然の事ですが避けなくてはなりません。症例提示にご協力いただける先生には大変お手数をお掛け致しますが、世話人や共催会社と共に確認しながら作業を進めていただきますようお願いします。

「処方提案ができる薬剤師を育成する」これはPCP研究会発足時の目的のひとつであり、ここまで活動してきました。今や症例検討は当たり前の光景になり、活発な意見がグループ内、会場内で交わされています。処方提案ももはや当たり前のように行われるようになりました。我々精神科薬剤師の置かれている状況は刻々と変化を遂げています。皆様、精神科医療の発展に向け、今後共互いに切磋琢磨していきましょう。

東北ブロック世話人　谷藤 弘淳

2019年度全国処方調査協力依頼

PCP研究会では、本邦の統合失調症に対する処方実態・動向を把握するため、2006年以降毎年処方調査を行っています。昨年度の調査では、全国86施設より入院患者のデータ（11,727例）を、また62施設より外来患者のデータ（8,482例）をご提供いただきました。業務繁多にも拘らずご協力いただきました先生方、改めてお礼申し上げます。

さて、今年も例年同様、10/31（木）に全国調査を行います。今回は、新たな調査項目として、腎機能の指標としてクレアチニン値（Cr）を、また、副作用の指標として薬原性錐体外路症状評価尺度（DIEPSS）を加えることになりました。参加を希望されるご施設は、メールにて事務局までご連絡ください。

PCP調査委員会　宇野 準二

2019年度上期の活動状況

テーマ「統合失調症の薬物治療を再考する -多剤大量処方の回避ために病院と地域の薬剤師にできること-」

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	ワークショップ/症例検討	追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数
北海道	札幌	7月28日	森川文淑 旭川圭泉病院	森川文淑 旭川圭泉病院 蓮川岳志 旭川圭泉病院	中島　舞 向陽ヶ丘病院	32
東北	仙台	7月 7日	松本和紀 東北大学	岩﨑康平 青葉病院 藤本健太郎 弘前愛成会病院	菊地悠実 岩手医科大学附属病院	56
関東・甲信越	東京	9月 1日	渡邊衡一郎 杏林大学 佐藤　誠 成仁病院	谷口浩朗 駒木野病院 山田浩樹 昭和大学横浜市北部病院	–	51
	大宮	10月27日	髙橋一志 東京女子医科大学八千代医療センター	大久保由衣 順天堂越谷病院 須田修輔 南飯能病院	飯塚慎哉 田中病院 土井信幸 高崎健康福祉大学	–
	千葉	6月30日	木村　大 千葉大学	李　弘道 中村古峡記念病院	内之倉志朗 ファーコス薬局なしのき	27
東海	名古屋	6月23日	山本暢朋 榊原病院	山本暢朋 榊原病院 山崎孝佳 豊川市民病院	定岡邦夫 須田病院	45
北陸	金沢	8月 4日	米澤峰男 富山県立中央病院 下畑　創 医王ケ丘病院	白石　潤 北陸病院	–	43
近畿	大阪	7月28日	谷口典男 浅香山病院	中村恵暢 秋津鴻池病院 六波羅友貴 秋津鴻池病院	–	77
中国・四国	岡山	9月29日	江原良貴 積善病院	渡邉佑一郎 倉敷仁風ホスピタル 三宅彩香 岡山県精神科医療センター	堀内ともえ 林道倫精神科神経科病院	28
	高知	9月15日	澤田　健 高知医療センター 堤　一晃 つちばし薬局	大原伸騎 高知医療センター 高村祥吾 聖ヶ丘病院	–	21
九州	福岡	8月 4日	堀川公平 のぞえ総合心療病院	堀川直希 久留米厚生病院 小川明美 堤小倉病院	前原雅樹 杉山薬局	72
	沖縄	8月 4日	新里輔鷹 琉球大学	新垣　武 新垣病院	佐邊真理 平安病院	15

第4回日本精神薬学会のご案内

9月に行われた、第3回日本精神薬学会総会・学術集会（於：神戸学院大学）は、会員の皆様から多数の参加があり盛会裏に終えることが出来ました。演題を登録していただいた方、参加された皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。さて、次回の第４回日本精神薬学会総会・学術集会は、宮城県仙台市にて「レジリエントな心をつくる」をテーマに初の3学会の合同年会で行われます。他の2学会（日本神経精神薬理学会、日本生物学的精神医学会）に引けを取らないよう有意義なプログラムをしっかりと準備して参りたいと思いますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

仙台のグルメと言えば、牛たん、鮨、岩ガキ、ずんだ餅、笹かまぼこは絶対に外せません。また、東京オリンピックとパラリンピックの合間に開催されるため、宿泊されるホテルは早めの予約をお勧めします。

※合同年会のご案内：https://www.c-linkage.co.jp/npbppp2020/

東北ブロック世話人　黒沢 雅広

● 病院紹介コーナー

岡山県精神科医療センター

今回から新たに始まりました病院紹介コーナー、初回!!を担当させていただきます、岡山県精神科医療センターです。初めては何でも緊張するものですね…。

当院は252床の精神科単科病院で、救急急性期病棟×2、急性期病棟、重度慢性期病棟、児童思春期病棟、司法入院棟で構成されています。急性期に特化した体制で、全て閉鎖病棟になっています。当院の特色としてクロザピン使用患者が多く、薬剤師は毎日パソコンとにらめっこをしてコーディネート業務をしています。

薬剤師は7名です。(1名は臨床研究部専従、1名育休中) 年も近く、雰囲気はいつも和気あいあいとしています。猫好きな薬剤課長の影響で、薬剤課の至る所に猫のポスターが貼られており、忙しい業務の合間にメンバーを癒してくれています。

病棟薬剤師は配置していませんが、急性期病棟を中心とした服薬指導、カンファレンスや心理教育、多職種チーム (NST, ICT) への参画をしています。また積極的な副作用のモニタリングのため院内プロトコールに沿って検査オーダーも行います。中央業務に押され裏方に回りがちな精神科の薬剤師ですが、なるべく顔の見える存在であるべく、こまめに顔を出すようにしています。

学生実習の受け入れも行っており、今年は4名の学生さんが来てくれています。精神科単科では出来ることに限りもありますが、少しでも学生さんの精神疾患や精神科病院への垣根が低くなればという思いで毎年指導を行っています。少ない人数でも効率的に指導できるよう精神疾患に特化したオリジナルのテキストを使用しています。当院のホームページから無料でダウンロードできますので、皆様もぜひご利用ください。内容は随時更新予定です!

岡山県精神科医療センター　薬剤課　検索

以上、当院の紹介とPRでした! このコーナーでPCP Newsletterが盛り上がりますよう、次回以降の更新も楽しみにしていてくださいね☆彡

岡山県精神科医療センター　香川 あずさ

岡山県精神科医療センターのデータ

薬剤師数	病床数	1日平均処方箋枚数	薬剤師平均年齢	院外処方箋発行率
7名 +補助2名	252床	入院 151枚 外来 16枚	33.1才	91%

2019年度下期ブロック講演会開催（予定）のご案内

テーマ「精神科におけるSDM（Shared Decision Making）の位置づけと薬剤師の役割」

ブロック	場　所	開催日	会　場
北海道	札　幌	2月22日㈯・3月14日㈯・3月28日㈯	大塚製薬　札幌支店
東　北	盛　岡	10月27日㈰	マリオス盛岡 18F 188
関東・甲信越	東　京	3月　8日㈰・3月29日㈰	フクラシア
	千　葉	2月　2日㈰	大塚製薬　千葉支店会議室
	大　宮	3月　1日㈰・3月15日㈰	TKP大宮駅西口カンファレスセンター
東　海	名古屋	2月　2日㈰・2月　9日㈰	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー
北　陸	金　沢	2月23日㈰・3月　1日㈰・3月　8日㈰・3月15日㈰	未定
近　畿	大　阪	3月15日㈰	梅田スカイビル
中国・四国	岡　山	3月　8日㈰・3月22日㈰	8日（TKP北口）、22日（ホテルチューリッヒ東方）
	徳　島	1月26日㈰・2月16日㈰・2月23日㈰	未定
九　州	福　岡	3月　8日㈰	福岡国際会議場　5F
	沖　縄	2月16日㈰	沖縄産業支援センター

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がありますので、詳細はPCP研究会ホームページの活動状況欄をご覧ください。

事務局掲示板

■2019年度会費（2019年4月～2020年3月分、年会費：3000円）

年会費は、年度初めに郵送いたします振込用紙にてご納付ください。講演会受付での納付には事務手数料300円を徴収させていただきます。ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】 口座名：精神科臨床薬学研究会　　口座番号：00170-2-578959

＊通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。
（会員番号が不明な方は、メールで事務局（contact@pcp-rg.org）へお問合せください。）

■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

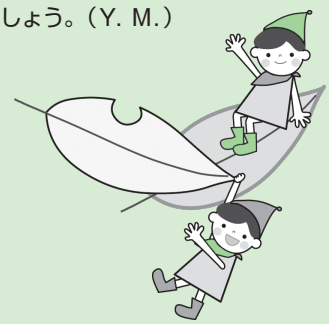
■特別講演DVD

「統合失調症の薬物治療を再考する
～多剤大量処方の回避のために病院と地域の薬剤師にできること～」

2019年度上期講演会を欠席された会員の皆さまにDVDを貸出しております。希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー（演題はホームページに掲載）の貸出しも受け付けております。

■事務局連絡先

〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町2−4−5 茅場町2丁目ビル8階
株式会社ネオファルマ 内
E-mail：contact@pcp-rg.org（メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。）
FAX：03−5643−0113　URL：http://www.pcp-rg.org/

【編集後記】

先日、神戸で開催されました第三回日本精神薬学会総会・学術集会に参加してきました。今回も全国からたくさんの精神科薬剤師が集まり、大盛況の大会となりました。普段のブロック講演会ではなかなか交流できない先生方ともお話をすることができ、とても楽しい二日間でした。まだ参加されたことのない会員の皆様、来年は是非、仙台でお会いしましょう。（Y. M.）